蔵王嶽 広報

かじき

No.375 昭和61年 1月号

題字 東町長

発行 加治木町
編集 総務課

寒稽古

寒中の厳しい寒さの朝、少年剣士たちが、竹刀を持って道場に急ぐりりしい姿は、冬の風物詩の一つです。

最近、朝の街角でそれより目立つのは、ジョギング姿。〝寒ジョギング〟という言葉はありませんが、やはり、寒いからといって怠けてはならないとばかり、寒中は、よりいっしょうけんめい走る気になるようです。

ところで、稽古といえば、冬の季題の一つに消防の出初式があります。

新年に当たり、消防関係者が、初めて出そろって集団動作の訓練をするわけです。

今年一年、身も心も引き締め火の用心に心がけましょう。

〝走ろう会〟も初稽古

◆人口 23,256人(+15)男10,954人(+8)女12,302人(+7)世帯数 8,075(+4)60.12.1現在( )前月比

あけまして おめでとうございます

東　國雄町長

下猶篤男議長

心豊かな活力ある町づくりを

加治木町長　東　國雄

皆様には新たな決意と希望を抱いて、新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、町政に対し町民各位の深いご理解とご協力を賜りありがとうございました。

さて、過ぎ去った六十年を顧みますと、長びく経済不況のもと、国、地方ともに財政運営の環境は極めて厳しいものがありましたが加治木町総合振興計画の指標である「市民生活が躍動する文化的な居住都市」づくりを基本にいたしまして、農林水産業の基盤整備事業、街路事業をはじめ、町道や小烏公園などの都市基盤の整備、加治木小学校の体育館・プール建設などの教育環境の整備、保健センターなどの活用による町民の福祉増進のための諸施策の推進に出来る限りの努力をいたし、大きな成果を上げることができました。

これは、ひとえに町民の皆様のご支援とご協力のたまものであり誠に感謝に堪えません。

また、八月末の13号台風で家屋や農作物などに多大の被害を受けられたかたがたに対しまして心からお見舞いを申し上げます。

迎える新しい年、昭和六十一年は、町総合振興計画の後期計画のスタートの年に当たります。

後期計画では、昭和六十五年の目標人口を二万七千人と設定し、町民一人一人が安全で快適な社会生活を営むことが出来る「文化的な居住都市」の建設をめざし、都市基盤の整備を積極的に進めることにしております。

木田本通線や仮屋馬場通線をはじめ町民生活の基盤となる生活環境の整備や、農林漁業や商工業の振興、社会福祉・保健衛生の充実、文化会館の建設など、重要で緊急に実現を図らねばならない課題が山積しております。

これらの事業を計画的に推進してゆくには、従来にもまして創意工夫を重ね、町政運営に対処してゆくことが必要だといえます。

本年四月には、加治木小学校を開校いたしますが、厳しい財政事情の中、今後とも経常経費の節減はもとより、行政効果の見直しなど財政運営の合理化、適正化を図り、心豊かな活力ある町づくりに全力を挙げ、町政の進展に取り組んで参る決意でございます。

町民各位のご理解とご支援をお願い申し上げます。

最後に、皆様のますますのご健勝とご多幸を心から祈念し、新年のごあいさつといたします。

昭和六十一年を迎えて

加治木町議会議長　下猶篤男

輝かしい昭和六十一年の新春を迎え、年頭に当たりまして皆さんのご健勝とご繁栄を心からお祝い申しあげます。

町議会も昨年五月議会の構成替えによりまして、新しい体制の下議員一同「住みよい文化的な居住都市」建設のため一丸となって努力を重ねて参っております。

さて、過ぎ去った昭和六十年を振り返ってみますと、八月末来襲しました13号台風によりまして家屋はもとより農作物等に多くの被害を受けられた皆様がたに対し衷心からお見舞いを申し上げます。

幸いにして、その後天候の回復によりまして農作物におきましてはほぼ平年作まで持ち直したことは不幸中の幸いだったと思います。

また、国内外の政治、経済情勢は激動し、特に対外的には貿易摩擦など幾多の問題を残した年だったと思います。

町といたしましてもこの一年間厳しい財政事情の下、総合振興計画に基づいて福祉関係、教育問題、土木、農林、水産商工等の諸事業に出来得る限りの努力を重ねて参り、それなりに実績をあげ得たと評価をいたしております。

ここに迎える新しい年昭和六十一年は、六十五年を最終年度とする本町総合振興計画後期計画の初年度に当たります。

「輝く太陽の下、風光明媚な海と山、緑豊かな格調ある町並みと田園の中で市民生活が躍動する文化的な居住都市」建設をめざし、計画に基づいて都市基盤整備事業としての道路、街路の整備、土地区画整理事業、ほ場整備、教育施設の整備、商工業、農林水産業の振興、福祉対策など町民皆さんの御協力を得ながら、積極的に事業推進を図らねばならないと思います。これ等の事業実施についてはとりもなおさず財源の確保が先決であります。国が実施いたします行財政改革によりまして国の予算も誠に厳しいものがありますが、地方財政にも多くの影響があることも覚悟をしていなければならないと思います。

議会といたしましても、この様な状況を良く見極めながら予算獲得に一層の努力を重ねて参る所存であります。また、町民の代表としての議決機関の機能を最大限に発揮しつつ町民皆様のご期待にそうよう努めて参ります。

どうか本年もより一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

最後に皆様の御健勝を心から祈念申し上げまして新年のごあいさつといたします。

六十五年の目標人口は二万七千人

総合振興計画後期計画を決定

第4回定例町議会

第四回定例町議会は、十二月十七日から二十六日までの十日間の会期で開かれ、町総合振興計画基本構想の一部改訂や一般会計補正予算などの議案十九件を審議し、可決しました。また、陳情は「学校事務職員、栄養職員などの適用除外をはじめとする義務教育国庫負担法の見直しに反対する陳情書」と「木材需要促進について」、「流水占有料及び水源税の徴収反対についての陳情書」の三件が採択されました。

テクノポリス構想を後期計画に盛り込む

町総合振興計画は五十二年に決定され「市民生活が躍動する文化的な居住都市」の建設を目ざし、これまで前期計画に基づく諸事業を推進してきました。

昭和六十一年度から始まる後期計画については、五十九年度から見直し作業に着手し、住民アンケート調査の結果をふまえ十二月二日、町総合振興計画審議会に諮問し答申を得ました。

今回決定された後期計画では、長引く社会経済の低迷からなかなか脱皮できず、期待されていた加治木団地等の分譲が不振なことや一世帯当たりの人口減少に伴い、六十五年度の目標人口が前期計画の三万二千人から二万七千人に変更されました。

また、部門別施策の大綱で「産業経済の振興」の工業部門に、県が一大事業として、推進している〝国分隼人テクノポリス開発構想〟が盛り込まれました。

これは、テクノポリス区（国分市及び隼人町）と母都市・鹿児島市を結ぶ結節都市として位置づけられている本町は、幹線道路の整備により陸・海・空の交通の要衝であり、地の利を生かした振興計画が期待され、先端技術産業の導入を図るため上場地区に農工団地の整備による働く場の確保、下場には結節都市にふさわしく加治木団地等の促進など住宅団地の振興を図ろうとするものです。

〔将来目標人口〕

区分	後期計画 昭和60年	後期計画 昭和65年
総人口	23,300人	27,000人
幼年人口（0～14歳）	5,100	5,600
生産年齢人口（15～64歳）	15,100	17,900
老年人口（65歳以上）	3,100	3,500

姶良地区滞納整理組合規約を可決

納税の公平を期し、最近増加しつつある地方税の滞納を共同で処理するため、本町と国分市・姶良町・牧園町・隼人町・福山町の一市五町で設置する姶良地区滞納整理組合の規約が可決されました。

組合は、関係市町の議会で規約を議決した後、県知事の許可を得て設置され、事務局は加治木町に置かれることになっています。

4501万6千円を追加

一般会計補正予算

一般会計補正予算は、町道舗装工事費八百万円や辺川上地区の農業構造改善事業工事請負費百万円など歳入歳出それぞれ四千五百一万六千円を追加し、一般会計の総額は四十六億三千六百二十九万八千円となりました。

主なものは次のとおりです。

▽票簿会計システム委託料八十万円▽財政調整基金積立金二千百三十一万円▽老人医療特別会計繰出金五百十三万八千円▽家畜導入事業資金供給事業補助三百八十八万円▽肉用牛等振興施設整備事業補助二百六十五万六千円▽道路新設改良工事請負費（小山田線ほか）四百四十七万一千円▽児童福祉施設費・扶助費四百九十五万一千円

お母さんしっかり

お茶の水女子大学教授
附属幼稚園園長
外山　滋比古

赤ちゃんにはやさしい声を出していたお母さんが、子供が三歳くらいになると、けわしい声になります。お母さんの声変わりです。

どうして声が変わるのかというと、よその子が気になるからです。うちの子が後れているのではないか、と心配なのです。小さな子を連れているよその三歳の児はみんないっせいに同じことが出来るものだと考えるのです。子供もめいめい発育の仕方が違います。

チューリップは春になると、早々と咲きますが、キクはいくらがんばっても秋にならないと咲きません。子供にはチューリップ型もあれば、キク型もあります。

キクちゃんのお母さんが〝チューリップちゃんを御覧なさい。もう花を咲かせてるじゃないの。あなたグズグズしてないで早く花をつけなさいよ〟などと言ってみても、キクちゃん、どうしようもないでしょう。

目先きのことであせるのは禁物です。じっくり花をまつのです。こんな話があります。

子供のかかる小児科のお医者さんには、ニコニコしている先生もいれば、ちょっと怖い先生もおります。おもしろいことにニコニコ先生にかかった方が子供の病気が早く治るというのです。そんな非科学的なこと、と笑うことが出来ないのが、心の不思議なところです。

あるところでお母さんの声変わりの話をしたら〝私は朝と晩で声が変わります〟というお母さんがいました。ことに外で働いているお母さんは、夕方帰った時の声が朝よりもとげとげしくないかどうか反省しましょう。

お母さんの声変わり

お母さんがいると、近づいていって〝おいくつですか〟と聞かずにはいられません。

その子が同い年で、うちの子よりもしっかりしているようだと、お母さんはいらだちます。

〝あなた、しっかりしなくっちゃあ〟

どうも誤解があるようです。

まちのわだい

大盛況老人クラブバザー

四回目を迎えた町老人クラブ連合会主催のバザーが十二月四日、福祉センターで開かれ、十時の開場をまちかね四百人あまりの長い列ができるほどの盛況でした。

会場では、三十二の老人クラブが持ち寄った不用品をはじめ、自分たちで作ったしめなわや竹ぼうき、昔懐しいタカンバッチョなど約千三百点が販売されました。

価格は、市価より三割から五割も安いとあって一時間足らずですべて売り切れてしまい、竹ぼうきを肩に重たそうな荷物をかかえて帰る姿が会場のあちこちで見受けられました。

小学生３人が手話の中級を取得

県ろうあ協会主催の中級手話講習会の閉講式が十二月二日、福祉センターで行われ、小学生三人を含む二十四人が中級の認定証を受けました。

中級の資格を取得した小学生は浜田加奈子さん（柁城小四年）と馬渡ゆかさん、川原千鶴さん（柁城小六年）で、三人は六月二十四日から十二月まで二十回開催された講習会に一日も休まず参加し、実際に手話を使って障害者と対話しながら学習を積んできた成果が実ったものです。

浜田加奈子さんは「お母さんといっしょに参加しましたが、難しかった。うれしい」と感想を語りました。

竜門司焼1,000点を展示即売

竜門司焼の良さを広く知ってもらおうと、第二回陶器まつりが十二月十四日から十五日まで小山田の竜門司焼窯元で行われました。

会場には、竜門司焼の代表的な焼物の三彩焼や鮫肌、黒物のほか昨年川原軍次さんが三十年ぶりに復活した〝どんこ焼〟などの作品一千点あまりが展示され、茶器や花瓶などは市価の二、三割引きで販売されました。

また、ろくろを使ってつぼや茶碗などを造る実演も行われ、県内外から集まったおおぜいの陶芸マニアたちは興味深げに見入ったり一つ一つの作品を手に取り、黒薩摩の持つ庶民的な味わいを楽しみながら品定めをしていました。

人形劇を楽しむ

町立図書館の「お話しの時間」を利用して、ママさん人形劇団ピノキオが十二月十八日、「カチカチ山」と「袋の怪物」の人形劇を公演し、集まった子供たちから盛んな拍手を受けました。

これは、クリスマス公演として毎年実施しているもので、図書館の日本間にはお母さんに連れられた幼児や小学生など百人あまりがつめかけ、人形の一つ一つのしぐさに熱心に見入っていました。

また、劇の後は人形にさわったり、握手をしたりして一足早いクリスマスプレゼントに大喜びしていました。

まちのわだい

加治木猟友会が望岳園を慰問

加治木猟友会ではお年寄りに長生きしてもらおうと、今年も十二月二日望岳園を慰問し、キジやハトなどをプレゼントしました。

この日は、溝口久男会長と川原輝夫さんの二人が、十二月一日に開催した共猟会で会員から寄せられたキジやコジュケイ、うさぎ、山バトなど三十八点を望岳園に届け「これを食べて、元気で長生きしてください」とお年寄りに手渡しました。

お年寄りたちは大きなキジなどを手に大喜びで、贈られた獲物はさっそく夕食の献立に加えられ、みんなで舌鼓みを打ちました。

共猟会の成績は次のとおりです。①川原輝夫②緒方勉③福永哲郎

廃品回収でユニフォーム資金

スポーツを通じ相互の交流を深め、たくましい少年の育成をめざす活動を進めている永原スポーツ少年団では十二月八日、地域の協力を得て廃品回収を行いました。

この日は、男子ソフトボール部員十三人、女子バレーボール部員二十八人と父母らが空き瓶や古新聞などを集めて回りました。

団は五十八年四月に結成され、日常の練習のほか、道路の空き缶拾いや地域の美化活動にも積極的に参加しており喜ばれています。

廃品回収は年二回計画されており、収益の一部はユニフォームなどの購入費に当てられています。

冬の水道管

水道管も風邪をひきます

毎年冬になると、水道が凍ったり、破裂したりすることがあります。

むき出しになっていたり、北側や風あたりの強いところにある水道管はやさしくいたわりましょう。

★凍るのを防ぎましょう

水道管に布などを巻いて保温し、その上からビニールテープなどをしっかりと巻きつけ保温材がぬれないようにします。

★凍った水道管は、やさしく……

水道管が凍ってしまったら、そのまま自然に溶けるのを待つか、ぬるま湯をかけてゆっくり溶かしてください。急に熱湯をかけると管や蛇口が破裂することがあります。

器楽合奏やコーラスを披露

七回目を迎えた町合同演奏会が十二月十五日福祉センターで開催され、日ごろ練習を積んできた美しいハーモニーが集まった六百人あまりの観衆を魅了しました。

演奏会では、あいら幼稚園の園児による器楽合奏や、錦江小学校の合唱、加治木中学校のリコーダーアンサンブル、加治木高校と加治木工業高校の吹奏楽、コール加治木とコールのばらによる合唱、柁城小学校の器楽演奏などが次々に披露され、集まった観衆は盛んな拍手を送っていました。

主催した町合同発表会（音楽の部）の政田智治実行委員長は「将来は音楽ばかりでなく、郷土芸能などを題材にした演劇の部の発表もできるような催しにしてゆきたい」と抱負を語りました。

ゴミ処理を考えようと対話集会

町生活学校

活発な意見を交換

カン太郎

身のまわりの課題を一つづつでも解決してゆこうと「ゴミ処理と空き缶・空き瓶のリサイクルを考える」をテーマに、町生活学校主催の対話集会が十二月十四日、役場第三委員会室で開かれました。

対話集会には、枦山大平町衛生協会長をはじめ地区公民館連絡協議会の篠崎秋明さん、自治会連絡協議会の増田昌弘会長、福祉課長が出席し、「ゴミは決められた日の朝に出そう」「生ゴミの処理は自治会や公民館でも取り上げ、みんなで考えることが必要だ」「ゴミステーションに出す時は、捨てるという意識より処理してもらうという気持ちが大切だ」などの意見が出されました。

また、保健衛生課長は「燃えるゴミと燃えないゴミの選別はゴミ処理上大変重要です。空き缶、空瓶等は資源として再利用するようにして欲しい。そうすることがゴミの減量につながります」と助言しました。

★みんなで協力して今後進める事

■ゴミは収集日の朝に必ず出すようにする。

■燃えるゴミは水切りを良くする

■燃えないゴミは選別して出す

空き缶、空瓶等は再資源として利用するため、カン食いロボット「カン太郎」の設置を地域ぐるみで進める

■野菜くずなどのゴミは、土に浅く埋め肥料として使用する

生ゴミの減量を図る上からも、ホームコンポスター（堆肥を作る器）の普及に努める

■ゴミを山や川に投げ捨てないようにする

■天ぷら油などの廃油は、海や川を汚染するので流さないようにする（廃油は、毎月八日スーパーこうかで石けんと交換しています）

第19回 町内一周駅伝競争大会

午前10時にスタート

と　き●1月26日(日)　8時30分集合
（雨天の場合、2月2日）

コース●〔一般・高校・中学……男子〕
加高→南国生コン→字白木田→辺川橋→ひなばバス停→菖蒲谷入口→曲田バス停→町立図書館

〔一般・高校・中学…女子、小学男子〕
室屋商店→加中正門前→室屋商店→図書館

1・3・5区　2・4・6区　7区

青少年の豊かな心を育てよう ㉟

明治十五年前後を境にして、島津氏七百年間に鍛錬蓄積した人物財宝をなめ尽くすなど社会風紀の紊乱の折、学舎は青少年の攻学と共同団結して、難行苦楽・心身鍛錬の場となりました。

（一部樋脇郷土史より引用）

町の郷土史に記されている加治木の学舎は次のとおりです。

青雲舎（仮屋町・加治木高校正門前）

明治二十五年一月二日、青年一時閉鎖後、新納教義氏が舎長となり指導薫陶。時代の変遷とともに、週一回程度の郷土館での討論会・反省会、護国神社の清掃と自顕流の錬磨、夏期霧島キャンプなどを現在も行っています。

有為舎（港町にありました）

明治十九年私塾の閉鎖後、塾生の森山藤太郎氏らが相諮って柁街青年研究会を作り、明治二十二年日高彦市氏らも加わり拡堂館を作りました。明治二十六年八坂神社の拝殿を譲り受け、今町に舎屋を建設。土橋惣一氏らが中心となって、柁街青少年の訓育に努めました。

明治三十年「有為舎」と改称。風雪による倒壊の後、明治三十八年実業クラブを借用していましたが、明治三十九年一月一日網掛川河畔に浜田彦蔵氏らの協力により改築されました。

昭和八年には舎生七十余人を数えました。

舎　訓

一、本舎設立の趣旨を忘れず、柁街青年の面目を発揮せよ

一、正直な人となれ

一、誠実な人となれ

一、勤勉な人となれ

一、同情ある人となれ

（「郁文館」は次回に）

青少年教育

鹿児島・加治木の流れ（その16）

『加治木の学舎』

学生の協議により創立。舎屋三十坪、三十六人、初代舎長は岩城豊次氏で、智徳の訓育と質実剛健、尚武の気風と長幼の序を重んじました。薬丸流自顕流、日・祝日の蔵王岳と湯湾岳の旗取り合戦、深夜のつんぼが下（柁城小学校裏の深さ三、四㍍の薄暗い低地）や椿窓寺墓地での肝試しなど、錬磨・山坂達者・剛気作りに励みました。

ゲートボールで親睦図る

ふれ合い事業モデル地区

地域ぐるみで青少年の健全育成に取り組んでいる八地区のお年寄りと子供たち約百九十人が十二月一日、役場グラウンドでゲートボールを楽しみました。

これは「地域ぐるみふれ合い事業」モデル地区どおしの親睦を図ろうと、町教育委員会と町老人クラブ連合会、町子ども会育成連絡協議会が開催したもので、子供たちは「ホラ、こっちをねらって」などとお年寄りから手ほどきを受けながらいっしょうけんめいスティックを振っていました。

お年寄りの手助けで…

錦江小は惜しくも三位

第三回軟式少年野球大会

県内の強豪を集め第三回町軟式少年野球大会が十二月一日、町営グラウンドで開催され、錦江小学校軟式野球スポーツ少年団は惜しくも三位となりました。

この日は、枕崎や川内などから十六チームが参加。錦江小学校軟式野球スポーツ少年団は、ピッチャー・中西寛君（六年）の好投や打線の活躍で国分北チームに九対一と快勝し、決勝戦へ進出しました。

決勝戦では、一回戦で今回優勝した帖佐チームと対戦し、好試合を展開しましたが二対一のきん少差で惜しくも敗れました。

結果は次のとおりです。

▽**優勝**…帖佐▽**二位**…三船

▽**三位**…錦江、重富

好試合を展開

歴史の旅 7　岩屋寺を訪ねて

新春を寿ぎ、岩屋寺に登ってみましょう。

岩屋寺の開基年間は定かでありませんが、天徳二年（九五八年）に再興した記録から見ると千二～三百年前から存在した、と推察されます。

岩屋寺の南、約五百㍍の所にある薬師仏像は、五十二代嵯峨天皇の時代、弘仁年間（八一〇～八二四年）のものといわれています。その後、平家の全盛時代、治承元年（一一七七年）加治木領主大蔵家八代・八郎親平の二男「木田三郎」が出家して別当職（住職）となりました。

伊地知時代（永正四～五年・一五一〇年）に、岩屋寺の大規模な修理が行われ、住職の快扶という人がたくさんの仏像を作りました。島津時代になり、寛永四年（一六二八年）家久の時にも修理をし、時の住職頼昌法印の石座像が現存しています。

大巌屋寺と言ったのは、川の流れに沿って東南一㌔の寺門境内に、附属した大小の寺院が屋根を連ねて建っていたためで、今も「ユルキ堂」の地名が残っています。

持仏堂本尊は、義弘公の長男（天正六年六歳で死去）の四寸五分（約十五㌢）の木仏座像で金泥で飾られていました。

また、木仏・石仏像三十余体もありましたが、廃仏毀釈で焼きはらい、法印座像と不動明王像のみが現在残っています。

少し登ると洞窟があります。これを奥の院といい、東西六㍍、南北三十二㍍ありましたが、今は風水害等で壊れ近寄ることは危険です。ここに聖徳太子作の聖観音が安置されており、故に岩屋観音と言います。

言い伝えによれば宝物が埋めてあると言われ、一説には目印にニラとしのみ竹の話が残されており、全山に竹が生えています。もう一つの説は、朝日（日の出）が一番最初に当たる場所と言われていますが、これがいつの季節か不明です。どうも後の説が信頼性がありそうです。

あるような、無いような宝物は金の延棒と朱肉、うるしのつぼの三点だそうで、昔の貴重品です。

今も山芋掘りに行けば、場所によっては仏像の頭がゴロゴロ出て、恐れをなして逃げ帰ったこともあったそうです。

間知石を積み上げた後がたくさん残っており、夢とロマンをかき立て冷気が吹き抜ける、静寂な昔をしのばす古寺の跡でもあります。

宝船知るは法印座像のみ
補陀洛山歳月に消ゆ

（木田・吉村　次男）

岩屋観音と奥の院の跡

薬師仏像

あなたの心を伝えよう

「はたちの献血」キャンペーン

今年で第10回を迎える「はたちの献血」キャンペーン。(社)日本民間放送連盟(民放連)主催で、はたちの人を中心に献血の輪を拡げるイベントです。ラジオとジョイントし、地域社会での献血運動が1月13日から3月13日まで繰り広げられます。

大量に必要な輸血用血液

昨年は、1日平均4,782リットル(200ccの牛乳パックで23,910本)もの血液が手術などに使われました。

輸血用血液は年々増加しており、手術の時には大量に必要です。病気やケガで苦しんでいる人の尊い命を救うため、社会の一員として献血にご協力ください。

見知らぬだれかに、あなたの心の温かさが伝わります。

チャレンジ

社会に生かせ はたちの力

成人おめでとう

あなたの声が社会に生きる

はたちと選挙権

わたしたちは、二十歳になると選挙権が与えられます。

そして投票をすることで国の政治や地方政治に参加することができるのです。

しかし、実際に投票できるようになるには、「選挙人名簿」に登録されていなければなりません。

選挙人名簿に登録される資格は次のとおりです。

▼加治木町に住所を有する日本人

▼三か月以上住民基本台帳(住民登録)に登録されている人

▼満二十歳以上の人

毎年九月(選挙があれば、その直前)に登録されることになっています。一度名簿に登録されると、住所を変えない限り永久に登録されます。

大切な選挙権を有効に使うためにも、引っ越しなどで住所を変えたときは、必ず住民票の異動届を出してください。

また、「だれに投票しても同じこと」と棄権してしまう人がいます。これでは、あなたの意見は少しも政治に反映されません。

二十歳になった皆さん。

これからは選挙のたびにあなたの手元に「投票所入場券」が送られてきます。

立候補者をよく知り、自分の代弁者としてふさわしい人を選んでください。

立候補者を知る手がかり

候補者を知る手がかりには、街角に掲示されるポスターのほか、次のようなものがあります。

▽**選挙公報**(新聞などに折り込まれることが多い)

▽**街頭演説**(駅前広場などで行われる)

▽**個人演説会**(ポスターで日時や場所が知らされる)

▽**立合演説会**(ポスターで日時や場所が知らされる)

▽**政見・経歴放送**(テレビやラジオで放送)

成人の自覚を行動に

はたちになったら国民年金

会社や役所、学校などに勤めて給与をもらっている方は、厚生年金、共済組合といった年金に自動的に加入しています。

しかし、その他の方は、はたちになると国民年金に加入しなければなりません。

将来、あなたの老後の生活を支えることになる国民年金は、はたちのあなたにとっても他人事ではありません。

成人としての自覚を持って、国民年金に加入しましょう。

加入手続きは住民課が窓口

国民年金には、当然加入と任意加入があり、加入者は次のとおりです。

●当然加入の人

▽農林・漁業、自営業、自由業などを営む給与所得者以外の人

▽無職の人(二十歳以上五十九歳までの方)

▽厚生年金に加入していないサラリーマン(給与所得者)

▽サラリーマンの妻(専業主婦で二十歳以上五十九歳までの方)

●任意加入の人

▽昼間部の学生

◇　◇

手続きは、町役場の住民課・国民年金係が窓口です。

はたちになったら、国民年金の手続きをお忘れなく……。

お金のかからない選挙実現のために

選挙や政治をきれいにするためには、選挙にお金がかからないようにすることも大切です。

そして、それは公職についている人や候補者になろうとする人たちばかりでなく、有権者もまた協力しなければ実現することではありません。

※たとえばこんなことも違反となります

政治家や候補者などが、選挙区内の人に金銭や品物などを寄附することは法律で禁止されています。また、私たち有権者も寄附をねだったり、品物を受け取ったりすると法律違反となります。有権者も心掛けましょう。

◎お祭り、集会などの寄附

◎結婚、入学などのお祝い

◎開店祝いの花輪

◎団体旅行などの寄附

◎お葬式の香典や供花

◎お歳暮やお中元

電話で聞ける『性応寺の鐘の音』

番号は62－2929

加治木電報電話局では「性応寺の鐘の音」のテレフォンサービスを実施しています。

性応寺では、門徒の方の協力で真新しい鐘楼が建立され、毎日朝七時と夕方五時の二回美しい音色で時を告げています。

加治木電報電話局では、この鐘の音を電話（☎六二―二九二九）でも聞けるようにテレフォンサービスを始めました。期間は一月末までの予定ですが、御利用が多ければ延長することにしています。

重度障害者に特別障害者手当

一月から認定請求を受付

福祉課

六十一年四月から「特別障害者手当」制度が設けられます。

この制度は障害基礎年金制度（原則としてすべての成人の障害者に月額一級・六万二千五百円、二級・五万円を支給）が導入されるのに伴って、より重度の障害者に特別障害者手当（月額二万円）を支給するものです。

特別障害者手当制度の対象となる人は、二十歳以上の重度の障害者（二つ以上の障害をもつ重複障害者）で日常生活において常時特別の介護を必要とする人です。

現在の福祉手当の受給は六十一年三月までは従来どおりですが、四月以降はこの制度の創設に伴い次のように変わります。

▼二十歳以上の人で、特別障害者手当制度の対象者に該当すると思われる人は、新たに手当の認定請求手続きをとらなければなりません。（拠出制の各種障害年金の受給者も含みます）ただし、特別障害者手当も障害基礎年金も受けられない人には、引き続き現在の福祉手当が支給されます。

▼二十歳未満の人には、現在の福祉手当が名称を「障害児福祉手当」と変えて引き続き支給されます。

そして、二十歳になった翌月からは障害基礎年金が支給されます。

これらの改正に伴い、支給月も従来の年三回から四回へと変わります。

また、身体障害者療護施設や老人ホーム等の福祉施設に入所している人、病院等に三か月以上引き続き入院している人、一定以上の所得のある人には支給されない場合があります。

特別障害者手当の認定請求の受け付けは六十一年一月から始まります。

詳しいことについては、町役場福祉課へお尋ねください。

また、認定請求に必要な諸用紙も福祉課にあります。

▽町役場福祉課・老人障害係☎六二―二一一一、内線五十二番

ニンニク

捨て作りして蒜の花咲きぬ　京屋

中国原産で、今は畑に栽培するユリ科の多年生草本です。

日本名忍辱（ニンニク）は、耐え忍ぶことで僧がこの劇臭も気にとめず食する隠語だといわれます。

この鱗茎は、とくに強壮薬として賞用され、大陸方面では日常愛用されています。一説によれば、巨大なエジプトのピラミッドは、工事に従事した人びとにニンニクを食べさせて作り上げたともいわれています。

ニンニクは、大人で一日二片以内が限度で、それ以上は肝臓障害と貧血（溶血作用があるため）になる副作用があるそうです。

さまざまな利用法がありますが…。

十株のニンニクを薄皮をむき、沸騰しているお湯に三分間入れざるに移しすぐ冷水で冷やします。

これをしょうちゅう一升に入れて、三か月で出来上がります。生を用いたものより臭いがソフトになります。水で薄め、酔わない程度に飲むこと。

今日一日の活力源に…朝、みそ汁に、半熟卵を作ります。それにニンニク一かけらの半分程刻んだのを抱きこませ、スルスルッとすすりこみます。卵黄がニンニクの臭いを消す作用があり、人様に迷惑をかけません。

くしゃみ三回風邪かな、と思ったら、すぐこの方法をやってみてください。臭いも漂わず、知らぬ間に風邪が逃げます。

にんにくの
玉ひとくくり我に分ち
かたみに冬を
過ごさんという　鹿児島寿蔵
（筆者　県民の森　上萩大治）

▽無断転載は、ご遠慮ください。

竜門の会

里神楽果てて社に闇戻る　加藤　白柳

かくれ逢ふ為のマスクとなりにけり　佐々木かすみ

火の島の家並明るし石蕗の花　柳田　稔

動かざる弧舟は遠し冬霞　川上　節子

噴煙を木枯海へ吹き落す　鶴田　耕

池水に彩とかしをり石蕗の花　内田美津代

石蕗の蝶たためる羽も黄にもえて　川崎　黒兎

枇杷の花日照雨が石垣ぬらしゆく　三浦　ゆう

寒灯に手入れとどきし樹々の影　上野　光

百幹の杉の下草薄紅葉　竹山　洋子

柿蜜柑取り尽されて山眠る　横山　江南

年の瀬や無為に過きたる日を重ね　高木　正男

綿虫や曇りしままに夕暮れて　井之上透山

初冠雪嶺のせまりて光射す　古江　重美

買いもせずただ見るばかり師走市　恒吉　斗南

空き缶はクズカゴへ

お知らせ

所得税の確定申告は正しく、お早めに

昭和六十年分の所得税の確定申告は、二月十六日から受付が始まります。申告期限は三月十五日ですが、期限間近になりますと税務署は大変混雑し、落ちついて相談ができなかったり、長時間お待ちいただくことになりかねませんので、確定申告はできるだけ早めにお済ませください。

申告書は「申告書の書き方」や「所得税の確定申告の手引き」を参考にして、昨年一年間の所得と税額を正しく計算し記載してください。

また、昭和五十九年の税法改正で、白色申告のかたでも事業所得等のある方は、確定申告書を提出する際「収支内訳書」を添付するよう義務づけられています。

「収支内訳書」というのは「総収入金額」や「必要経費」の内容を記載するものです。

準備は早めに、添付をお忘れなく……。

詳しいことは加治木税務署か税務相談室にお尋ねください。

加治木税務署
☎〇九九五―六二―二一六一

鹿児島税務相談室
☎〇九九二―二二―七五五四

◎所得税相談
日時■三月十日(月)から十三日(木)

◎贈与税相談
日時■二月十日（月）

▼会場は、いずれも加治木税務署

タコあげは、電線のないところで

タコあげのシーズンです。

毎年九州では、約二千個ものタコが電線にひっかかっています。

電線の近くでは、タコを絶対あげないように、ご注意ください。

もしタコが電線にかかったら、危険ですから自分でとらずに、九州電力・加治木営業所へご連絡ください。（電話六二―二二二八）

●電柱に登ってとるのはやめましょう。

●電線を竹ざおでつつくのは大変危険です。

そのために停電して近所のみなさまに大変迷惑をかけることがあります。

軍人恩給及び扶助料等の説明会を開催

軍人恩給及び扶助料の加算等について、軍人恩給連盟の係員がご相談に応じます。

この機会に、日ごろ疑問に思っていることがありましたら、遠慮なくお尋ねください。

▽**日時**
一月二十八日（火）
午前十時から

▽**場所**
町福祉センター
第一会議室

うぶ声

出生児　保護者　自治会

有村　美香　明　札立
米山　智幸　満　西塩入上
奥濱佐和子　孝二　原ノ門
岩澤　隆宏　隆志　口ノ町
今道　直樹　徹　垂ノ口
德留　良子　祐二　蔵王団地
山上　幸子　真一　田中
杉田　龍彦　健二　赤坂
今村　祥子　修一　西江口団地
朽元　孝幸　孝　札立
上野　裕貴　義郎　中塩入
永露めぐみ　満枝　直人　厳　豊町
向井田早紀　久志　西江口団地
矢野　和秋　希典　柳田
湯田平康陽　秋德　西塩入中
平田　綾子　宏明　田中
今薗　優　照志　赤坂
岩下亜希子　健一　垂ノ口
鮫島　雄樹　秀人　赤坂
忠雄　蔵王団地
内野　裕介　良昭　棚目
谷富　文哉　弘文　江湖
郡山　知博　伸博　西塩入下
安藤　直樹　義昭　赤坂
東村　啓志　隆志　赤坂
前田　佳恵　達雄　今町

▽十二月二十日までに住民票に記載された分を掲載いたしました。

ご寄付

香典返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申しあげますとともに故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

五万円　小陣　上薗薩志（父　愛志七七）
三万円　西浦西　日高スミエ（夫義男六二）
二万円　端山　東條順子（夫　強六六）
二万円　上川内　山下純男（兄　美好七五）
二万円　桑迫　向江貞義（母ケサマツ八五）
十万円　高井田　城　フヂ（夫　松夫八五）
二十万円　柳田　石原きよ（夫　敏秀八七）
二万円　田中　国生サワ子（夫文男四一）
二十万円　萩原　神村さなみ（夫喬成九六）
二万円　東吉原団地　金川達夫（母　タキ七一）
三万円　石野　石野ミツエ（夫武男七二）
三万円　岩原西　勝目フヂエ（夫清二七六）
三万円　弥勒　江口シヅエ（夫秀男八〇）
三万円　豊町　東ヒロ子（夫　長男五三）
三万円　天神　溝口幸男（母　ノキ九四）
三万円　豊町　前田フジ子（夫辰己八〇）

＝町老人クラブ連合会へ＝

五万円　高井田　城　フヂ（夫　松夫八五）
二万円　柳田　石原きよ（夫　敏秀八七）
三万円　萩原　神村さなみ（夫喬成九六）

＝町育英奨学資金へ＝

五万円　高井田　城　フヂ（夫　松夫八五）
十万円　柳田　石原きよ（夫　敏秀八七）
三万円　萩原　神村さなみ（夫喬成九六）

＝町国民年金協議会へ＝

二万円　豊町　前田フジ子（夫辰己八〇）
二万円　上川内　山下純男（兄　美好七五）

▽十二月二十日までのご寄付を掲載いたしました。（年齢は満年齢）

●記事訂正とおわび

十二月号の九ページ「町内小学校陸上記録会」の記事中誤りがありました。深くおわびし、次のとおり訂正します。

◎**六年女子一〇〇メートル走**
中原聡子→中畠聡子